

調布市立中学校部活動地域連携・地域移行について（案）

1 部活動を取り巻く現状

- 活動経験のない部活動の指導をせざるを得なかったり、休日も含めた部活動の指導が求められたりする等、教師にとって大きな業務負担。
- 近年、中学校部活動加入生徒数の減少が加速化。特に持続可能性という面で、既存の部活動を存続させることに厳しさが増加。
- スポーツ・文化芸術団体や指導者等と学校との連携・協働に課題。

2 部活動加入状況（加入人数及び加入率）

参照：令和5年度部活動実施状況調査結果

運動部	男子	女子	合計	加入率（%）
令和4年度	1441	986	2427	55.6
令和5年度	1434	941	2375	53.4
文化部	男子	女子	合計	加入率（%）
令和4年度	538	835	1373	32.0
令和5年度	528	837	1365	30.7

3 今後の方向性

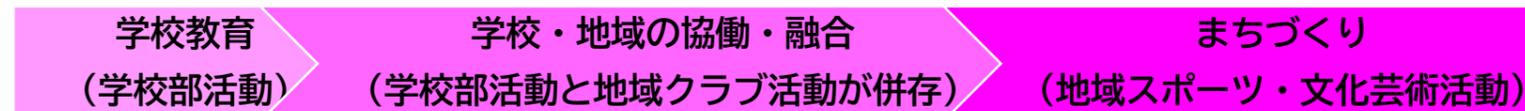
- <国> 令和7年度末までに、まずは休日における地域の環境の整備を着実に推進。平日の環境整備はできるところから取り組み、休日の取組の進捗状況等を検証し、更なる改革を推進。
- <都> 令和7年度末までに、都内全ての公立中学校等で、地域や学校の実態に応じ、地域連携・移行に向けた取組を実施。
- <市> （改革推進期間）休日における段階的な地域連携の実施。
（改革推進期間以降）検証・分析を行い、平日を含めた地域連携・地域移行に向けた取組の実施。

4 目指す姿（ゴールイメージ）

- 子どもや大人、高齢者や障害者の参加・交流を推進する地域スポーツ・文化芸術活動の中に部活動を取り込む。ウェルビーイングを実現し、まちづくりの推進を図る。
- 「地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる。」という意識の下、調布の地域資源を活用したスポーツ・文化芸術活動の機会の充実を図る。

5 調布市の学校部活動の将来像

- 学校部活動の地域スポーツ・文化芸術活動への移行の流れ



- 持続可能な学校部活動の実現

地域連携(学校が主体)

<学校部活動を改革>

部活動指導員、外部指導員を拡充。教員の異動による部活動の存続問題等を解決し、大会引率等の代替で顧問の負担軽減。

学校部活動をスポーツ・文化芸術団体等と連携し、学校と地域が協働・融合した形で、合同部活動、または、地域クラブ活動を実施・移行。

- 持続可能な地域クラブ活動の実現

地域移行(地域が主体)

<地域クラブ活動を充実>

子どものニーズ(種類や在り方)に応じた様々なスポーツ・文化芸術活動の機会創出。

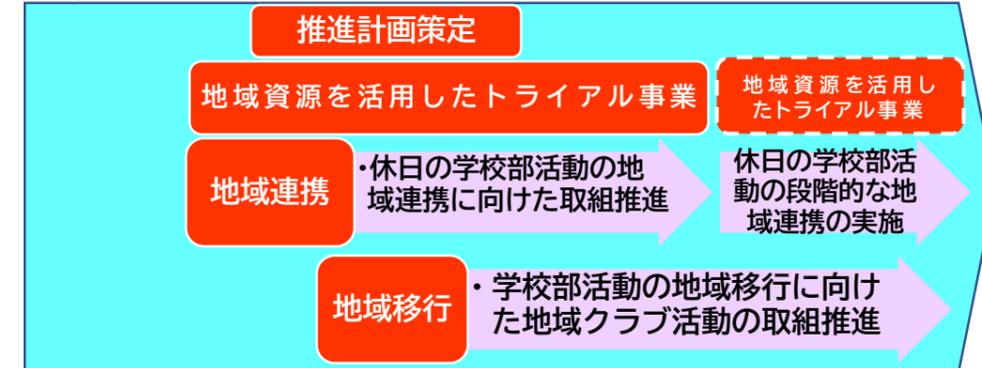
学校部活動の教育的意義を生涯学習へ継承・発展及び新しい価値の創出。(学校施設(用具・備品等を含む)やスポーツ・文化施設等の地域資源を活用した地域スポーツ・文化芸術活動の実施等)

※地域とは、地元企業・団体・大学・市民など、市に関係する機関や人々。

6 スケジュール



<市>



(取組内容)

- 推進計画の策定、基礎調査(学校保管の備品等)の実施。
- 合同部活動等の事例創出・課題の洗い出し、課題解決策の検討・試行。
- 地域クラブ活動のモデル実施・課題分析。
- 成果の普及、進捗状況の検証、地域クラブ活動の整備促進。